



本能まちづくりニュース

第14号 平成14年10月1日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

E-mail: honnoh@kimono-kyoto.org
URL http://www.kimono-kyoto.org/honnoh/index.htm

三條油小路町絵図より鑄物師釜屋庄三郎方

「本能学区地区 地区計画」が決定!

昨年、まちづくり委員会を中心に取り組んできました本能学区の「地区計画」の方針部分が、8月8日、「京都府の同意」を得て「公示」され、都市計画決定されました。お手元に配布された概要をお目通し下さい。

本能まちづくり委員会ホームページ (<http://www.kimono-kyoto.org/honnoh/index.htm>) にも掲載されています。全文は、京都市都市計画課 (TEL222-3505) にて閲覧できます (土日・休日を除く 9:00~17:00)。印刷された「本能学区地区計画」の方針が都市計画に位置付けられ、私達学区民だけでなく、行政も一緒になって、まちづくりの指針として広く情報発信できます。また、建築の時に強制力はもちませんが、「私達の思いとして配慮してください」と開発業者に伝えることができますようになります。今後、この「地区計画」の方針を、みんなで共通に認知し合い、守っていきましょう。

◆地区計画の構成

・地区計画は「地区計画の方針」と「地区整備計画」の2つから成り立っています。

地区計画

地区計画の方針

まちの将来像を明らかにするため、地区計画の目標と土地利用や建築物などの整備の方針を定めています。
土地利用や建築行為において強制力はもちませんが、まちづくりの指針となるものです。

地区整備計画

具体的なまちづくりのルールにあたるもので、地区計画の方針に従って、土地利用の制限や建物の制限等を必要に応じて定めます。
将来的にこの部分を住民の間で定めると、土地利用や建築行為において強制力をもつことになります。

※今回は、「地区計画の方針」のみを定めています。

今後の方向

前号のニュースでもご紹介しましたが、今、まちづくり委員会では、今回の地区計画の内容をより具体的に、わかりやすく紹介して、私たち本能学区民の思いを伝えるための「本能学区のしおり」(仮称) 作成に取り組んでいます。「しおり」の内容としては、先のアンケート調査の結果に基づき、本能学区の姿・地区計画・自治会活動・建物の設計建築に際しての留意点・共同住宅の管理・地域の緑化等、を盛り込むことになっています。

最近、新しく建ったマンションの集会所を使ってそこに住む子供達と一緒に地蔵盆を行ったり、

マンション建築業者と話し合いの機会を持ったりして、仲良くお付き合いをしていこうとする町内会の動きがあります。まちづくり委員会としては、大変望ましい方向と考えます。住む人とともに、建築物もそうであってほしいと願い、まちなみに調和し、相隣関係も融和的な建物にするにはどのようなことに配慮すべきか、について話し合っています。

本能夏まつり開かれる

本能公園で盆踊り

ところどころの町内で地蔵盆が行われていた8月17日、夕方から本能夏まつりが、本能公園一帯で開催されました。

4時から公園では、子供達向けにゲーム場ができました。じっくり楽しむコーナーでは、暑さの中でも、長蛇の列。スタッフや見守る大人も一時童心に返って子供達と遊べたようです。

公園を出た六角小川の角には、5時から飲食コーナーと休憩所が店開き。前日から用意されたおでん、みたらし団



本能公園でのゲームコーナーは、長蛇の列



小川通を六角通から北にのぞみ歩行者天国は、食べ物コーナー

子・ウイナー・焼き鳥・焼そば・たこ焼きなど、でき上がる度に一気に、一気にの売り行きで、終了時刻近くには、涼を呼ぶカキ氷のみとなるほどでした。お客さんと和やかな会話を交しながら、スタッフは心地よい汗を流しました。

今年の新顔は、無線インターネットの見られるパソコンコーナー。すぐに興味を示したのは子供達で、たちまち第2ゲーム場と化し、大人は遠巻きに遠慮がちでした。「大人もパソコンに触れてインターネットの便利さを実感し、本能まちづくり委員会のホームページを是非ご覧下さい」との開設者の話です。

夕暮れとともに、太鼓と炭鉾節

が響きわたり、祭り情緒が高まって、公園で盆踊りが始まりました。今年は子供達や新しくお住まいになった人達の参加が増え、やぐらの周りには、子供達を中心に、三重の輪ができました。浴衣姿の先輩さんに倣って一緒に踊るのも、また、だんだん上手になっていく踊りを見るのも、楽しみなものです。

最後にワクワク、ドキドキの豪華抽選会。今年のトップ賞は自転車で、皆で拍手！岡山自治連合会長の来年の再会を約す言葉で、本能夏まつりは幕を閉じました。



炭鉾節にのって、本能公園での盆おどり

本能夏まつりに参加して

私達がこの本能学区に住み始めて、今年の夏で丸2年が経ちました。京都へ引っ越し、永く住む場所なのだからこの街で生活することを楽しみたいという思いで、今年の6月頃より“本能まちづくり委員会”へ参加し始めました。そして、この街に住んで初めて作る側としてイベントに参加することになりました。それが“本能夏まつり”です。私たちの出来ることはほんの少しでしたが、皆さんの「ご苦労様、お疲れ様！」という言葉に「参加して良かった」という気持ちになりました。

マンションに住んでいると地域のイベントには参加しにくいかと思っていましたが、本能学区の方々はとても暖かく迎えてくださいました。これかも暖かく、楽しいまちづくりが続くよう積極的に参加していきたいと思えます。（柳水町 吉田貴宣・実納）

我が町内の地蔵盆

六角油小路町 源田真一

六角油小路町も少子化の影響で、地蔵盆の行事が、一時期中断している頃がありました。しかし、若い母親達が“子供達のために何とか地蔵盆を復活しよう”と云うことで、子供を持つ家を中心となって、手さぐりのなか町内で地蔵盆を行うようになりました。その後、近年までは、ホテルでの地蔵盆のイベントを利用してきましたが、ホテル内では個々がバラバラになって親睦が図りにくい点や、町内にマンションが次々と建設され、子供の数も増え、費用もかさむ事、又、最大の理由は、ホテルが地蔵盆のイベント



それぞれに、子供の名前がはいった提灯



昔の風物詩「ふご下ろし」を楽しむ子供たち

を中止したこ

ともあり、この3~4年前からは、“昔ながらの地蔵盆を町内で復活させよう”と、町内の皆様のご理解、ご尽力もあって、町内で行事を行うようになりました。子供達の名前の入った提灯を飾る木杵を作ったり、町内の交対協の役員さんをお願いして五条署の許可を取ってもらい、町内全体を通行止にして、子供達をのびのびと道路で遊ばせられるようにしてもらい、昔の風

物詩“ふご下ろし”も昨年

より新たに加えて、町内一丸となって行事を行っています。

六角油小路町では、旧住民、マンション住民の子供達を、分け隔てなく参加できる環境作り、マンションの親も子も積極的に参加しようとする意識が相まって、今年も子供達がお父さん、お母さんと一緒に、楽しく盛大に地蔵盆を行いました。現在対象児童数 64 名



みんなそろって、佛現寺さんの前で

歩いて暮らせる街づくり

まちなかを歩く日 11月16日(土)~17日(日)に決定

染めのまち本能

公開工房開催!! みなさまのご協力お願いします

本能まちづくり委員会の
次回開催は

平成14年11月1日(金)午後7時から
場所 本能会議室 当日飛び入り歓迎!!

研修会で活動を紹介

9月3日、東山区総合庁舎で行われた平成14年度京都市新任課長級職員研修会で、修徳自治連合会会長平井常夫氏とともに、本能まちづくり委員会委員長西嶋直和氏が活動紹介をしました。京都府立



平成14年度京都市新任課長級職員研修会
(東山区総合庁舎において)

大学の宗田好史助教授を講師に、パートナーシップのまちづくりの事例として、話題提供の任に当たりました。平井氏は「みんなで考えた修徳公園」作成の経緯、西嶋氏は本能まちづくり委員会の結成から地区計画承認にいたるまでの過程を、約100人の新任課長に述べました。

受講者の課題は、宗田先生の「パートナーシップのまちづくりには、住民から自分達の問題を自分達で考える自助の精神を引き出し、それを助ける役割が行政側に求められる。従来の陳情型から自発型への住民側の意識の変化があり、一枚岩でない多様な個性の集団をまとめていくにはどうすればよいか」という設問に、二つの事例から考えて答えること

とでした。

平井氏は、「幅広い意見の中から一つの案をまとめるには、粘り強い意見調整が必要である」を、西嶋氏は、「時と場合に応じて、誰かがリーダーシップをとることが必要になる」・「委員会立ち上げの時から、行政と対等の関係で一緒にやってきた」こと等を、助言しました。

なかでも、西嶋氏の「本能学区ではすでに、自治連合会の20数団体が日常的に活動を積み重ねており、後からできたまちづくり委員会は、新しい住民も含め学区民がこれらの活動に参加しやすくするための住民交流の促進をはかることと、地域の伝統文化の発信を活動の課題としている」・「京都のまちを愛し、住み続けたい、と思えるようなまちにしたい」という思いは、より深く職員の皆さんの心に伝わったことでしょう。



「住み続けたい、と思えるようなまちにしたい」と西嶋委員長

広報からのお知らせ

本能自治連合会各種団体行事の予定を、本能まちづくり委員会のホームページに掲載します。

行事予定を、広報・西村勝嘉 < honnoh@kimono-kyoto.org > までお知らせください

本能まちづくり委員会のホームページが立ちあがりました

掲示板などを通じて交流をはかりたいと思います、ぜひご参加ください

ホームページのアドレスは、<http://www.kimono-kyoto.org/honnoh/index.htm> です

編集後記 ○最近、本能学区でも痴漢・ひったくり・自転車泥などの犯罪が多発しているようです。住民がお互いに顔見知りになり、声を掛け合うことが地域から犯罪をなくし、安全で住みよいまちづくりへの第1歩だと思います。本号からサイズがA3と、少し大きくなりました。いかがでしょうか。MO
○夏まつりで、旧知の方々は勿論、幼い頃の面影を僅かに残す若者や、新しい顔ぶれの親子連れや子供達に沢山出会うことができました。これからの本能学区、頼もしいですね。KN